

女王様  
バイトで  
逆調教  
快楽堕ち



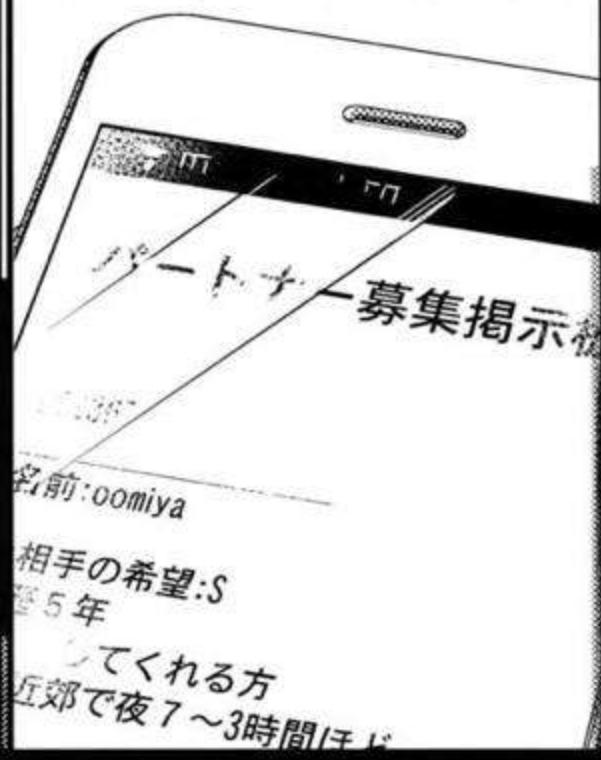
R18  
downbeat

persona5 mob\*protagnist fanfiction





バ新しい  
イトを始めた  
最近





こういう振舞いは  
メンツで慣れてる

脱がせて

ん

ハイ！

舐めたい？

今日は一日  
履いてたし  
臭うよ

下さりつ  
舐めさせて  
お願いします

わふ~

わふ  
わふ

ふ

ハイ！  
すごく

俺の足  
そんなに美味しい？











俺が調教の  
仕方を  
教えてやる





コイツ…っ











気持ちいいっ  
ちんぽ♡  
ゴリゴリ  
当たってつ♡

射精されながら  
いくつづつ  
つづつ

いくつ  
いくつ  
いくつ

ああ…  
射精で…  
スゴい…

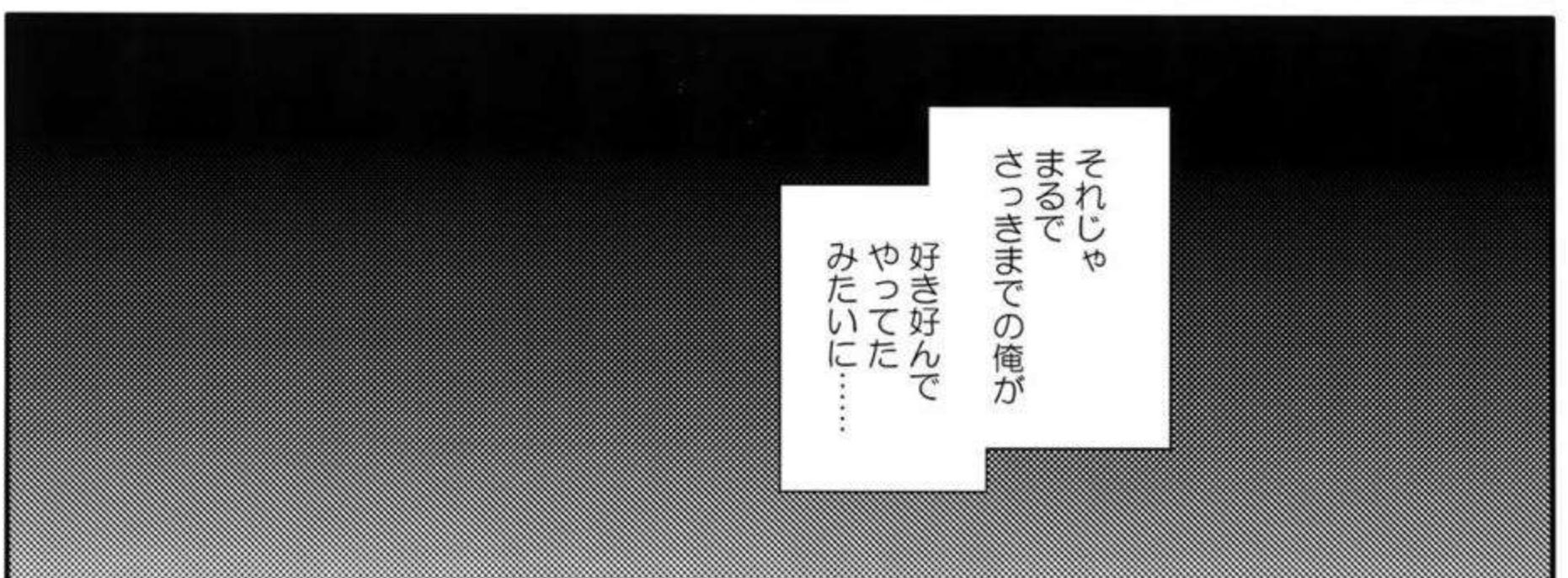
う…  
う…  
お…



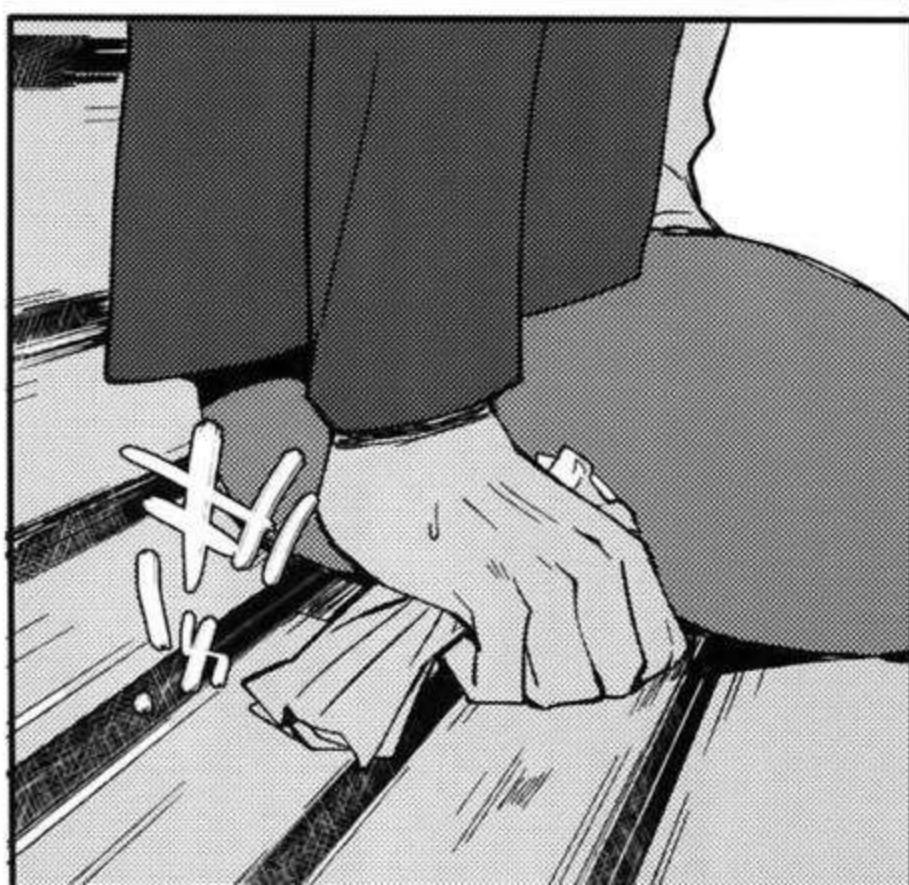




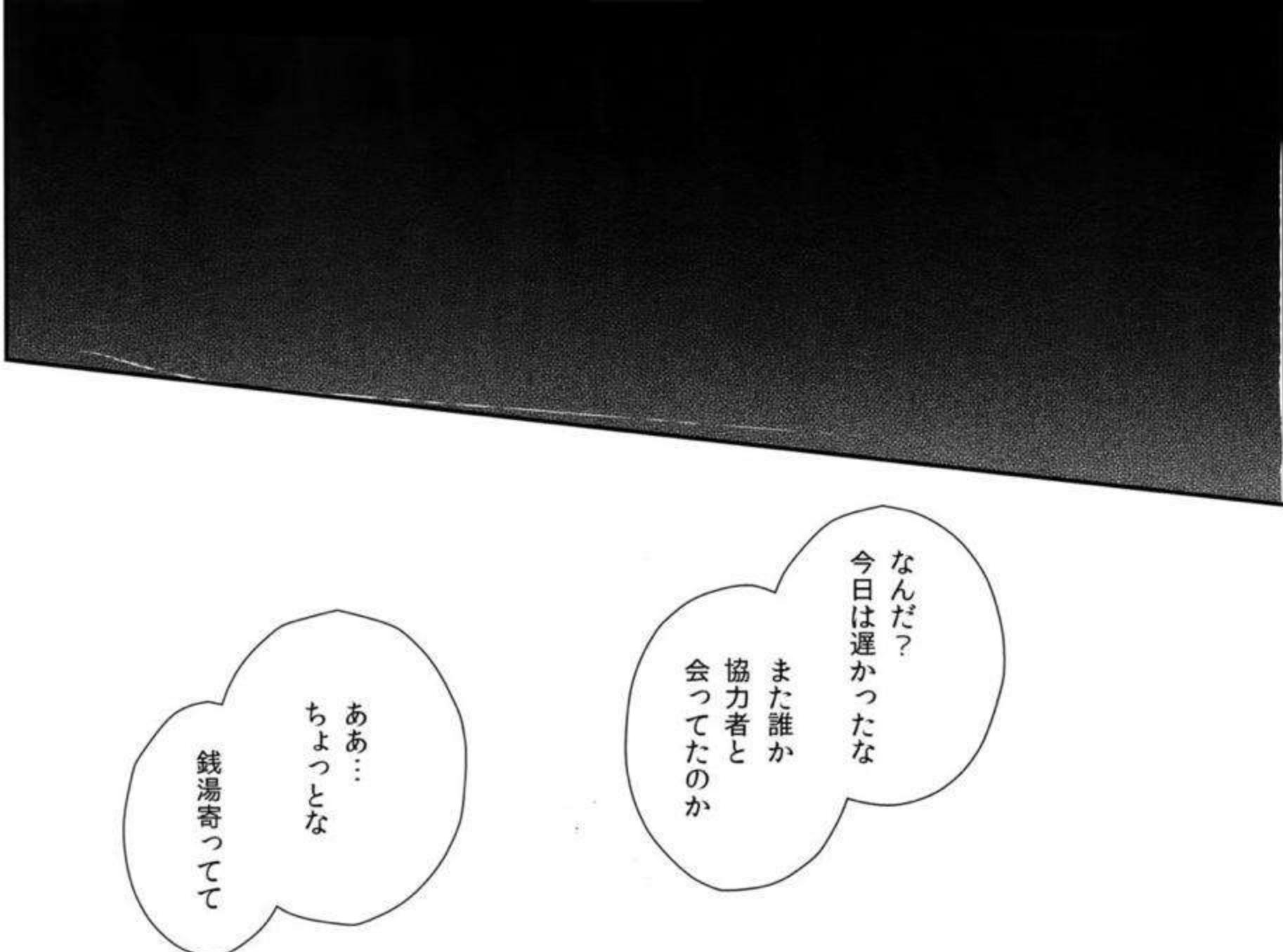
といふか  
自分がMだから



気が向いたら



……う





## 女王様として雇われたペゴくんが逆調教で快楽堕ち プロット:kokokisu

男と夜の公園で待ち合わせ

私服

若く見えるねと言われる

童顔ですと誤魔化す

大学生という設定でインターネットの掲示板で知り合ったM男を調教して稼いでいる

怪盗団に新しい仲間が増えた装備を買うお金が足りなくなつたから

男はMでペゴくんに女王様役を求めてくる

ペゴくんはメントスでシャドウを脅したりしているから慣れている

眼鏡をかけているけど中身はショーカーのようになっている

モブおじさんに道端で女王様としての変態プレイを強要されるペゴくん

スーツを着たおじさんに首輪をつけてリードを付けて四つ足で散歩させる

ペゴくんの靴を舐めさせる

言葉攻めをするペゴくん

「おじさん政治家なのに首輪付けないと散歩出来ないなんて恥ずかしくないですか？」

「俺の靴そんなにおいしい？ちゃんと泥も舐めとって、隅々まで綺麗にしてくださいわ」

「こんな変態に票を入れたって知ったら、皆なんて思うかな」

ペゴくんの容赦ない言葉攻めに興奮が高まってやばいテンションになり始めるおじさん  
本番はアウトなのに四つ足のおじさんがペゴくんの腰に縋りついて

「この卑しい犬めが女王様にご奉仕いたします」

とか言ってペゴくんのズボンを脱がせて咥えようとする

ペゴくん驚いておじさん引き剥がそうとするけれど出来ない

少し勃っておじさん大喜び＋大興奮

おじさんペゴくんのズボンと下着を擦り下してしゃぶり始める

おじさんのフェラが滅茶苦茶うまくペゴくん直ぐ出してしまう

おじさんが怖くてビビってしまっているペゴくん

人に舐められるのも初めてでショックでちょっと泣いている

精液飲み込んだおじさんが若干キレきみに逃げ出しそうなペゴくん捕まえて食ってかかる

「は？何その初めてのガキみたいな反応。そんなの全然女王様じゃない！」

おじさんがやばい人過ぎてペゴくんピクピク怯えている

おじさんが自分の付けていた首輪を外してペゴくんに嵌める

ペゴくんズボン脱がせられたまま

ペゴくんの尻をおじさんが自分の革靴で叩く

「ほら、俺が調教の仕方教えてやるからさっさと四つん這いになれ！」

ペゴくん首輪を外して逃げようとするけれどおじさんがリードをひっぱる

首が締まって苦しそうなペゴくん

「逃げる気か？勝手にどっか行ったらお前が未成年だって事、

S M掲示板でばらしてやるからな」ペゴくんそれを聞いて逃げられなくなる

四つん這いのまま歩かれるペゴくん

小石で手のひらと膝が痛いし恥ずかしい 人が来ないかが気になる

電線柱の前でおじさんが立ち止まってペゴくんをじっと見つめる

「どうした？お前は犬なんだろう？」

おじさんが怖くて泣くペゴくん

片膝を上げて犬のようにおしつこをする

おじさんにやにや

「沢山あるなあ。我慢してたんだろ」

電線柱にかけていたおしつこが地面についている膝にかかってしまう

「下手くそ、犬の方がうまいぞ」

ペゴくん恥ずかしさに赤面

待ち合わせ場所の公園に移動

おじさんペゴくんをベンチの上に膝立ちにさせて抱いている

ペゴくんが痛いと泣いているのを聞いておじさんリードグイっとひっぱる

「犬が人様の言葉しゃべるな！犬は犬らしくわんって鳴いてみろ！」

ペゴくんのお尻をぱしっと叩いて怒鳴るおじさん

叩かれた所が赤くはれる

ペゴくんまた痛いと言いつくなるのを堪えてワンという

その後も痛いというのを我慢して泣きながら犬みたいに言葉ばかり口から漏らす

抱かれている内に気持ちよくなつてしまつたペゴくん

なんで気持ち良くなつてるので戸惑っている

声出さないように我慢しているけどおじさんにはれてしまう

「なんだ？発情期の犬みたいに声出しやがって」

おじさんまたペゴくんのお尻を楽しそうに叩く

お尻が何度も叩かれて真っ赤に腫れ上がっている

それなのにペゴくん「くうん(ハート)」と犬みたいに言つてしまつ

おじさん快楽堕ちしたペゴくんみてますます嬉しそう 腰の動きが速くなる

「せっかくいい女王様見つけたと思ったのになあ。まさか中身がこんな雌犬だったなんて」

ペゴくん舌出してアンアン言いながら達する

おじさんもペゴくんに中出し

中に精液入れさせたままペゴくんに服を着せるおじさん

「そのまま電車に乗って、家に帰れ」

中から溢れてきて下着が汚れそうになる

零れないように我慢するペゴくん

早く帰つて身体を洗いたくて仕方ない

プレイが終わる

おじさんペゴくんにお金握らせる

会つた時と同じ笑顔

ペゴくんを責めてる時とは打って変わって懇意物が取れたような表情をしている

「今日は楽しかったよ。また良かったら会わない？」

ペゴくん涙の痕の残る顔を引き攣らせて首を横に振る

「そっか、残念。君、すごく才能あるのに。Sの人って、同じくらいMの素養あるんだよ。というか、自分がMだから、Mの相手が何をされたいか分かってあげられるんだよね」

おじさんこの日の事(犬扱いして公園でレイプ)をまるでペゴくんが

そうされたがっていたかのように話す

ペゴくん自分がおじさんに何をしたか思い出して俯いて赤面する

言葉攻めしたり靴を舐めさせたり シャドウに対する自分の振る舞いも思い出す

自分がそうされたかったのかと考えてしまうのを必死で否定する

おじさん立ち去る ペゴくんお金をぎゅっと握り締める

S Mのプレイ相手を求める掲示板を暗い部屋のベッドの上で見つめるペゴくん

モルガナはペゴくんの横で寝ている

ペゴくんの眼鏡にスマホの画面が反射している

調教する側の人を募集する掲示板をスクロールしている

少し思い悩んでからS募集の掲示板を開く

おじさんに調教された時の後ろめたい興奮を思い出すペゴくん

おじさんはMだったから調教するのもうまかった

なら自分も調教されたら調教が巧くなるかも

という言い訳をしながら相手を募集する書き込みをしてしまうペゴくん

end

## あとがき

こんにちは桐下です。  
今回はkokokisuさんとプロット交換ということで  
女王様なペごくんが快楽堕ちなモブ主を書かせてもらいました～！  
エロ漫画描く時はMっぽい受けを描くことが多いので、ちゃんと(?)  
女王様っぽいシーンを書いたのは何気に初めてだったんですが  
なかなかに楽しかったです……  
頂いたプロットは右ページに掲載させていただきました！！→  
かなりしっかり詳細な文章で頂いたので魅力的な部分を漫画で  
描けてるか不安ですが、楽しんで頂けたら幸いです～。  
細かい部分変更している所もあるのでその辺もお楽しみいただけたら！

ちなみに私がプロット担当・kokokisuさんに小説を書いていたものは  
既に同人誌で頒布されてますので是非奥付のkokokisuさんのピクシブや  
ツイッターなどチェックしてみてください！竜主でSMなお話です\*^\_^\*

またモブ主本は何かしら出すかと思うので  
お見かけの際はまた是非よろしくお願ひいたします…！ 桐下悠司

# 女王様バイトで逆調教快楽堕ち

奥付

発行日 2018.10.28  
発行人 downbeat 桐下悠司  
印刷 栄光印刷

連絡先 kirimotoyuuji3796@gmail.com  
pixiv: 19134852  
twitter: kirimoto\_g

プロット協力:kokokisu  
pixivid:255311  
twitter: \_kokokisu